



納連だより

No.158

令和6年1月

雪谷納税貯蓄組合連合会

新春号



「還る」 林 桜子 作

目次

年頭のご挨拶・・・・・・・・・・・・・1~4	奔走の日々・・・・・・・・・・・・・13~14
令和5年度納税表彰式・・・・・・・・・・5	雪谷税務署からのお知らせ・・・・・・・・15~17
中学生の「税についての作文」・・・・6~9	納税貯蓄組合連合会からのお知らせ・18
一日税務署長・・・・・・・・・・・・・10	
城南地区協議会・・・・・・・・・・・・・11~12	

年頭のご挨拶



雪谷納税貯蓄組合連合会 会長 伊藤 隆正

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新しい年を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。また、平素から雪谷納税貯蓄組合連合会の活動にご尽力頂き厚く御礼申し上げます。昨年、皆さまからご推挙を頂き、雪谷納税貯蓄組合連合会会長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

前任の近藤忠夫前会長は、14年の長きに渡り組合の発展に寄与されて参りました。その功績は誠に顕著であり、深く感謝申し上げます。

さて、1年を顧みますとコロナの収束に伴い、私たちの活動も通常に戻りました。

10月には、10年に一度の大イベント「城南地区協議会」が開催されました。ご来賓として、近藤忠夫東京納税貯蓄組合総連合会会長、那須匡子同事務局、高田和昭雪谷税務署長、笥啓和同副署長、高野豪大田都税事務所長、鈴木晶雅大田区長と大勢の方にお越し頂きました。当日は、10地区の組合・税務署の幹部の方々が集まり、各地区の様々な特色ある活動内容が報告されました。幹事地区と言う大役を無事に執り行う事が出来たのも、組合員の皆さまのご協力の賜と感謝申し上げます。

11月には、グランデュオ蒲田での「税のパネル展」、12月には中学生の「一日税務署長」と税の大切さや私たちの活動を地域の皆様へお知らせすることができました。

中学生の税の作文では、皆様や各学校長はじめ教職員の皆さまのご協力により高い投稿率を得ることができました。税の大切さを理解し、作文に取り組んでいただいた中学生の皆さんに心から感謝を申し上げます。当組合からは記念品として、大田区上池台障害者福祉会館の利用者が心を込めて作成した「リングホルダー」を管内の中学3年生全員に贈りました。

税は我が国の発展と繁栄を根幹から支える行政サービスの源であり、税の滞納未然防止は国及び地方の財政基盤の安定を図る上で極めて重要であります。雪谷納税貯蓄組合連合会は、これからも納税貯蓄組合法に基づき、雪谷税務署、東京都大田都税事務所、大田区、蒲田納連、大森納連と緊密な連携を図り、様々な施策を展開して参りますのご協力のほどよろしくお願い致します。

結びに、新しい年が、皆様にとりましてさらなる飛躍の年となりますよう心から祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



雪谷税務署長

高田 和昭

新年明けましておめでとうございます。令和6年の年頭に当たり、雪谷納税貯蓄組合連合会の皆様方に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、伊藤会長をはじめ役員並びに組合員の皆様方には、税務行政に対し深いご理解と格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴連合会におかれましては、キャッシュレス納付の推進活動や、期限内納税及びe-Taxの普及促進活動等、多方面にわたる活動に取り組んでいただきました。特に昨年は、城南地区協議会の幹事署連として平成30年以来5年ぶりに集合形式にて協議会を開催され、キャッシュレス納付等の各署連の取組について活発な討議を行っていただきましたこと、改めまして感謝申し上げます。

また、中学生の「税についての作文」募集事業につきましては、用紙の配付・回収から審査に至るまで献身的に取り組んでいただき、管内全8校から提出割合84.3%、提出部数754編と多くの応募をいただくことができました。この活動は、次代を担う中学生が租税の意義や役割を正しく理解し、納税意識を育てる上で大きく役立つものであり、大変心強く思っております。皆様方のご熱意とご尽力に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

さて、昨年10月から「インボイス制度」が開始しました。国税当局としましては、今後も登録をするか否かを検討している方々に対して寄り添った対応をしていくとともに、特に初めて消費税を申告する方など、制度に不慣れな方でも安心して申告・納税を行うことができるよう、制度の円滑な定着に向けて、柔軟な対応を心がけていきたいと考えております。引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

間もなく確定申告の時期を迎えます。令和5年分の確定申告では、e-Taxを利用し自宅等から行えるスマートフォン等による申告を一層推進するとともに、会場混雑を緩和するため、昨年同様、入場整理券の当日配付やオンライン（LINE）での事前発行を行います。

貴連合会の皆様方には、従来から、e-Taxやキャッシュレス納付の利用拡大にご協力をいただいておりますが、本年も引き続き、お力添えを賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が、雪谷納税貯蓄組合連合会の益々のご発展と組合員の皆様方のご繁栄の年となりますことを心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



大田都税事務所長

高野 豪

明けましておめでとうございます。雪谷納税貯蓄組合連合会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。伊藤会長をはじめ役員並びに会員の皆様には、中学生の「税についての作文」の募集・審査を通じた租税教育の推進など、都の税務行政に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、都内においては、社会が本格的に動き始め、また多くの外国人旅行者も目にするなど、明るい兆しが見られるようになってきました。しかしながら、国内においては、少子高齢化や人口減少など構造的な課題が浮き彫りになり、また、気候変動に伴う自然災害や激動する国際情勢などにより、経済、エネルギーなど様々な分野で安全が脅かされています。

こうした中、都は、一人ひとりが輝く明るい「未来の東京」を実現するため、政策強化の方針として「重点施策方針 2023」を示し、「『人』が輝く」、「国際競争力の強化」、「安全・安心の確保」の3つの観点から大胆に施策を展開することとしています。そして、この方針のもとで展開される様々な施策を支えるため、「都税収入」を確保することこそが主税局の最大のミッションであり、大田都税事務所としても、日々、努力を重ねています。

また、主税局は、納税者サービスの質の向上と税務行政の構造改革という2つの柱を掲げた「主税局ビジョン 2030」を策定し、キャッシュレス納税の推進、税務基幹システムの再構築に取り組んでいます。特にキャッシュレス納税については、納税者の利便性を抜本的に向上させ、その利用を促すため、e-Taxやクレジットカード、スマートフォン決済アプリなど、納税手段のデジタル化を積極的に進めています。引き続き、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

大田都税事務所としましては、これまでも増して納税者の皆様の視点に立ち、適正・公平な事務運営を進めてまいります。今後とも様々な側面から、お力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

なお、当事務所は本年も新蒲田の仮庁舎での業務となります。ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

結びに、雪谷納税貯蓄組合連合会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝並びに事業のご繁栄を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



大田区長

鈴木 晶雅

明けましておめでとうございます。雪谷納税貯蓄組合連合会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は会長をはじめ、役員及び会員の皆様には、区政運営に多くのご協力をいただき御礼申し上げます。また、中学生の「税についての作文」事業をはじめ、昨年11月の「税を考える週間」では、4年ぶりの街頭活動及び税のパネル展における啓発活動等にご尽力いただき、重ねて厚く御礼申し上げます。

昨年4月に区長に就任以来、スピード感を持って区政に邁進してまいりましたところ、あっという間に8か月余りが過ぎ、年明けを迎えることとなりました。

区では現在、新たな大田区基本構想の策定を進めております。平成20年に策定された基本構想から約15年経過しており、この間急激な少子高齢化の進行や気候変動による風水害の激甚化、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、区を取り巻く社会情勢や区民の生活様式が大きく変化しております。不確実性の高い時代においても、区の現状や区を取り巻く社会情勢等についてしっかりと整理・分析し、将来像の検討を進めてまいります。

昨年は、内閣府より2023年度の「SDGs未来都市」に選定され、さらにその中でも優れた10都市のみに与えられる「自治体SDGsモデル事業」にも選定、いわゆる「ダブル選定都市」に認定されました。2030年のSDGs達成に向けて、皆様にもご協力いただき、SDGs未来都市としての責務を果たしていきたいと考えています。そして、次代を担う子ども達が夢や希望を持って育つよう、「笑顔とあたたかさあふれる大田区」を築いてまいります。

特別区民税・都民税、軽自動車税につきましては、区民の皆様には利便性の高い方法でご納付いただけるよう、「キャッシュレス納付」の推進に取り組んでおります。スマートフォンを介してのキャッシュレス決済のほか、軽自動車税においてはQRコードを導入するなど、多くの区民の方々にご利用いただいております。今後も推進してまいります。

こうした重要施策の推進にあたりましては、貴重な財源である区税収入の安定確保が重要となります。納税貯蓄組合連合会の皆様方と連携しながら、徴収努力に励んでまいりたいと思いますので、今後とも、一層のご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、雪谷納税貯蓄組合連合会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

令和5年度納税表彰式



令和5年11月8日に嶺町集会室にて、令和5年度納税表彰式が開催され、雪谷税務署長及び関係民間団体長の表彰が行われました。

当日は、高野大田都税事務所長、大田区長代理の青木区民部長を来賓に迎え、納税道義の高揚にご尽力された方、税務行政に顕著な功績のあった方、また、各団体の発展のためにご活躍された方々に、表彰状、感謝状が贈呈され、大きな祝福の拍手に包まれました。

式典終了後、関係民間6団体主催の祝賀会が行われました。

受彰者の皆様の今後の活躍を期待すると共に、心からお慶び申し上げます。

受彰者の紹介

雪谷税務署長表彰

金子 武夫 (一般社団法人雪谷青色申告会理事)
鈴木 禎子 (雪谷間税会理事)
馬場 雄一郎 (雪谷納税貯蓄組合連合会副会長)
広瀬 安宏 (公益社団法人雪谷法人会副会長)

雪谷納税貯蓄組合連合会会長表彰

荻野 善正 (常任理事)
増淵 豊 (常任理事)

雪谷税務署長感謝状

川上 立雄 (雪谷納税貯蓄組合連合会副会長)
多田 弘一 (公益社団法人雪谷法人会理事)
古尾谷 誠一 (一般社団法人雪谷青色申告会副会長)
三浦 毅之 (公益社団法人雪谷法人会理事)
吉田 栄美子 (東京小売酒販売組合雪谷支部婦人部長)

中学生の「税についての作文」表彰

令和5年12月11日雪谷税務署にて、「中学生の税についての作文表彰式」を開催しました。当日は、多数の参加者が見守る中、優秀賞受賞の生徒さん8名に対して、賞状と記念品等が贈呈されました。



【中学生の「税についての作文」入選者発表】

中学生の租税教育の一環として、当連合会管内の8校を対象に応募をお願いしたところ、754編の作品が提出されました。関係官庁のご協力を得た審査の結果、次の生徒さんを入賞者として決定しました。

- ◎東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞
「税金に支えられた生活」・・・・・・・・・・東調布中学校三年 浅岡 優花 さん
- ◎東京納税貯蓄組合総連合会会長賞
「「生」と納税・サービスの循環」・・・・・・・・大森第十中学校三年 田中 然 さん
- ◎雪谷税務署長賞
「税の必要性」・・・・・・・・・・大森第七中学校三年 岡田 柚泉 さん
「夢のきっかけをくれる税金」・・・・・・・・雪谷中学校三年 生田 美緒 さん
- ◎東京都大田都税事務所長賞 「自立を支える税金」・・・・・・・・大森第六中学校三年 後藤 結衣 さん
- ◎大田区長賞 「助け合える税」・・・・・・・・・・田園調布中学校三年 小暮 咲希 さん
- ◎大田区教育長賞 「増税と私達の生活の関わり」・・・・・・・・大森第六中学校三年 守田 祥菜 さん
- ◎東京商工会議所大田支部会長賞 「税への気づき」・・・・・・・・清明学園中学校三年 松山 寛太 さん
- ◎雪谷納税貯蓄組合連合会長賞 「税と暮らしの関わり」・・石川台中学校三年 志知 裕菜 さん
- ◎東京税理士会雪谷支部長賞 「支え合うために」・・・・・・・・清明学園中学校三年 舞嶋 美音 さん
- ◎一般社団法人雪谷青色申告会長賞 「より良い社会へ」・・・・・・・・大森第六中学校三年 福島 一穂 さん
- ◎公益社団法人雪谷法人会長賞 「応援のリレー」・・・・・・・・大森第七中学校三年 竹尾 美咲 さん
- ◎東京小売酒販組合雪谷支部長賞 「納得して納税していくために」大森第十中学校三年 榎本 花純 さん
- ◎雪谷間税会長賞 「税金と幸せ」・・・・・・・・東調布中学校三年 椿田 結衣 さん



入選作ご紹介

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

税金に支えられた生活

大田区立東調布中学校三年 浅岡 優花 さん

私たち家族は昨年の秋、新型コロナウイルスに感染しました。近所の病院に行き、PCR検査を受け、薬を処方してもらいました。家に帰ってから、保健師さんから体調確認の電話があったり、パルスオキシメーターを貸してもらったりしました。手厚いサポートを受けられたおかげで、安心して療養することができたのを覚えています。他にも、日本の全人口の八割近くが接種したというワクチンも全て無料でした。私はテレビニュースでこれらが全て税金から支払われていることを知りました。もし、これらが個人負担だったらどうなっていたでしょう。お金を持っていて裕福な人は病院に行き治療を受けることができますが、お金のない人は検査を受けることすらできず、感染はさらに拡大し、死者数も増え、日本は今とは比べ物にならないほど甚大な打撃を受けていたことでしょう。

私はこのような経験から、税に興味を持ちました。そして先日ちょうど私が住んでいる区で選挙があり、立候補者が街頭演説を行っているのを毎日のように通学途中に耳にしたのです。子育て支援や防衛費などを始めとする税金やお金の使い道について特によく話していました。

私は自分の住んでいる東京都では実際にどのようにお金が使われているのか調べました。私が特に驚いたのが、義務教育期間の公費負担額です。なんと小学校と中学校合わせると、一人あたり一千三百万円以上ものお金を支払ってくれていました。今まで何も知らずに公立の学校に通っていましたが、とてもありがたいことだと感じました。母にこのことについて話すと、「子どもは社会の宝物だからね。」と思いきや返事がありました。しかし、将来は私たちが大人になり未来の日本を築いていくのだと考えると納得できました。同時に、責任のようなものも感じました。

私たちは今税金のおかげで、新型コロナウイルスのような緊急時にも対応できたり、健康で安心な毎日を送ることができています。

だから、税の使い道について考えることは、日本のこれからについて考えることにも繋がると思います。

私にできることは何でしょうか。普段から体調や怪我に気を付け、勉強に励むことで税金を無駄遣いせず有意義に使うことができると思います。また、三年後には十八歳になり、参政権を得られます。みんなの大事なお金を、どのような用途にどのくらい使うのかをよく聞き、よく考えた上で投票したいです。そのためには、今からニュースを確認したり、家族や友達とそのことについて話したりして、社会の動きに常に興味を持っておかなければなりません。私はまだまだ、税金に支えられてばかりの立場ですが、大人になったら私が今してもらっているように、安心して豊かな社会をつくる力になりたいです。

東京納税貯蓄組合総連合会会長賞

「生」と納税・サービスの循環

大田区立大森第十中学校三年 田中 然 さん

つい先日、祖父が亡くなりました。突然の入院から1ヶ月で、あっという間の出来事でしたが、その短い間に、また亡くなった後も手続きや「お金」にかかわることがたくさんあって、父が忙しそうに動いていました。いままで一度も利用した事がなかった国や市のサービスを利用する事も増えていき、税金によってまかなわれている、いろいろなことを考えるよい機会となりました。

まず、祖父が元気だった時は認知症の祖母と2人で暮らしていました。体の調子が悪くなっていき、祖母は週に2日介護施設に通ったり、美容師さんに来てもらって髪を家で切ってもらったり、歯医者さんに訪問して診てもらって「市のサービス」を受けました。その後、祖父の体調が悪くなると、家でみられなくなり、祖母の預け先について考えなくてはいけない時がきました。たくさんの介護施設をまわって、祖母にぴったりの場所を見つけることができました。その際も、市にいるケアマネージャーさんという介護のプロが相談にのってくれて



入選作ご紹介

適切なアドバイスをくれたと後から聞きました。その2日後に祖父が家で倒れてしまって救急車で運ばれました。このような急病の時に利用する救急車も税金のおかげで無料と聞いて驚きました。

僕の両親は共働きで、よく「税金が高い」と話していました。今までは「納税って大変な事なのかな？」としか思いませんでした。しかし、今回の祖父母のケースを見て、体調はいつ変わるか分からないから、そういった時はこうしたサービスを利用しなければならないのではないかと思いました。納税とは、いわば老後や困った時に利用するサービスの「前払い」のようなものなのかなと僕は考えました。また、まだ中学生である我々は、わずかばかりの消費税しか払わず、学校に行ったり図書を利用したりしている、税金を使っている立場にあるのではないかと思います。大人になったらそうして使ってきた分の「後払い」に加えて、今後のための「前払い」を払わなくてはなりません。そう考えると、「税金」は人間の一生で、「受ける→払う→受ける」というサイクルで成り立っているのだと思いました。

社会人になってからの納税の期間だけを切り取って考えてしまうと、国や区にたくさんもっていかれてしまうというネガティブな気持ちになってしまいますが、それはつまり、若い頃借りた借金を返して、後のために貯金をするといった感じで、長い目で見ると自分にも深く関わって行って、たくさんお世話になっているのだということを感じました。少子高齢化によって働き手が減っている中で、提供するサービスと受けられるサービスについて深く考えていかなければ、近い将来、このサイクルが破綻してしまうかもしれません。いつかの日のために、これについて今のうちから考えなければいけないと思いました。

雪谷税務署長賞

「税の必要性」

大田区立大森第七中学校三年 岡田 柚泉 さん

税金は、世間的にマイナスなイメージがあり、強制的にお金をとられる嫌な法律だと思っている人が多いです。無論、私もその中の一人で、税金はない方が良いと思っていました。しかし、もしも税金がなくなったらどうなるのか知り、私たちの生活に役立ち、支えられているものだと分かった時、税への考え方が変わり始めました。

私は小さい頃から本が好きで、図書館は定期的に利用しています。図書館はサービス業に分けられ、誰もが無料で本を借りることができる施設です。しかし、無料で本を借りることができる理由は、税金で賄われているからです。例えば、建物の建設費や、働く人の給料、貸し出すための本などで、それは図書館を利用する者にとっては嬉しいことですが、利用しない者の中には「図書館は税金の無駄だ」という意見があります。私は、そのように思っている人がいると分かって残念に思いました。考え方は様々ですが、「税金の無駄」という意見をなくすには、税金の使い道や意味を理解し、世間に流布していくことが大切なのではないかと思いました。

そして、税金の使い道や意味を正しく知るためにこの前、学校で租税教室がありました。普段、税について考えることがないので、良い機会だったと思います。私たちの目線で話を進めてくださったため、身近に関わっている税金について知ることができました。また、税金は、経済を安定させるためには必要不可欠だということも知り、将来に役立つ情報ばかりでした。私は租税教室を経て、税金はこれからの経済に深く関わるのだと実感しました。税金で、未来を変えていくのは、私たちだと思うので、自分から興味を持って学ぶことができるように、今回得たことを覚えておきたいと思います。

このように、私は税について考える機会があったことで、税の種類を知り、税の仕組みを理解しました。税についての知識は、日常のニュースを観て考えてみたり、お金についての本を読んでもらうことで増えていくと思います。加えて、税はどのように使われるべきなのかを考え、自分の意見を持つことも大切だと思います。そして、私は「税金は負担が大きい！」というマイナスな思いよりも「税金は、図書館のような娯楽も支えている」というプラスな思いを少しでも持ってほしいです。私はまだ、働くことのできない中学生であり、税金の重みを社会人よりは、感じていないのかもしれませんが、税金への考え方を様々な世代へ広げていき、行動を起こすことで、私たちは少しずつ前へ進んでいくはずだと思います。それだけではなく、社会全体が税の知識を持ち、国と未来のために納税することが、重要だと思います。



入選作ご紹介

雪谷税務署長賞

「夢のきっかけをくれる税金」

大田区立雪谷中学校三年 生田 美緒 さん

ある日の休み時間のことだ。私は次の授業の理科を楽しみにしていた。私は理科が好きで、授業の前には必ず教科書に目を通してどんな授業になるのか考えるのだ。その日私は化学の実験をすると予想していた。休み時間の終わりのチャイムが鳴り、先生が教室に足を踏み入れる。しかし、私はそこで違和感を覚えた。先生が実験器具を全く持ってきていないではないか。その違和感を解消するより早く、先生がこう言った。

「実験で使う薬品が一部なかったから、今回はその実験の動画を見るだけにします。」
私はひどく落胆した。

授業が終わり、家に帰ったあと、私は疑問を抱いた。なぜ実験に使う薬品がないのだろうか。年の最初に引き落とされる教材費の中に薬品の代金は入っていないのだろうか。少しばかりふてくされながら調べていると、あるサイトを見つけた。そこには、理科で使う実験の薬品は「税」でまかなわれている、と書いてあった。

そのサイトに書かれていたのは実験の薬品のことだけではない。理科室の机から始まり、もちろん椅子も黒板も、アルコールランプも、更には人体模型も税金によって購入されているようだ。いつも何気なく使っていた理科室は、税金によって機能していることに気づき、とても驚いた。しかし、驚くべきことはそれだけではない。その物たちの値段だ。真っ黒で時々落書きをしている人がいるあの机は、約二十三万円。怖い怖いと言いながら手を揺らして遊んでいる人がいるあの人体模型は、約三十九万円。これらが全て税金によって購入されており、知らないうちに私たちの勉強を支えてくれていたのだ。現代の中学生は、なんと恵まれた環境にいるのだろうか。ついさっきまで「なぜ薬品がないんだ」と不機嫌だった自分が恥ずかしくなった。

思えば、私が理科を好きになったのは、実験を通してその楽しさを覚えたからだ。税金がなかったら、私が理科を好きになることなどなかった。そう考えると、税金のありがたみが今よりもっと身に染みた。

私には理科についてもっと学びたいという夢がある。その夢のきっかけをくれたのは税金だ。税金は他にも、体育館をきれいにしてくれたり、私たちがよりよい活動ができるようにしたり、各教室に電子黒板を設置してくれたり、私たちが充実した勉強ができるようにしたりと、学生の学びを支え、さらに多くの「夢のきっかけ」をつくってくれている。そしてそのきっかけは、特別な行事の中だけではなく、毎日受けている授業の中にも存在していると思う。そういった一つ一つのことを大事にしながら、私は今後学校生活を過ごしていきたい。

【表彰式に出られなかった生徒さんへ表彰状を届けました】

伊藤会長と高田雪谷税務署長は、雪谷地区の中学校8校を訪問し、当日表彰式にでられなかった生徒さんへ直接表彰状と記念品を手渡しました。生徒の皆さんからは、満面の笑みをいただきました。校長先生はじめ教員の皆さまにも大変お世話になりました。私たちの母校は、未来に向かって、輝いています。



大森第七中学校の皆さん

一日税務署長

雪谷納税貯蓄組合連合会は、令和5年12月11日（月）雪谷税務署にて、中学生の「税についての作文」において優秀賞を受賞した中学3年生をお招きして「一日税務署長イベント」を開催しました。

今年度の一日税務署長は、東調布中学校3年の浅岡優花さん、大森第十中学校3年の田中然さんです。両名は、高田署長から委嘱状とタスキを、伊藤会長から記念品が授与された後、「名刺交換」や「電子模擬決裁」や「署長訓示」といった署長業務を体験しました。

一日税務署長の2名は、最後にケーブルテレビのインタビューを受け「税務署のことや職員の方のお仕事を知ること、社会人になった感じを体験しました。」など笑顔で答えていました。



令和5年度城南地区協議会

【実に4年ぶりの会場開催】

令和5年10月27日に嶺町集会室にて、令和5年度・城南地区協議会が開催されました。昨年までは、書面開催でしたので実に4年ぶりの会場開催でした。更に、雪谷納税貯蓄組合連合会管内での開催は、10年ぶりであり、幹事地区として協議会運営を当組合で担当いたしました。

城南地区協議会は、東京納税貯蓄組合総連合会の城南地区（目黒・品川・荏原・大森・雪谷・蒲田・世田谷・玉川・北沢・渋谷）の連合会10地区が集まり、各地区の活動報告などの情報を共有することで各地区の発展に繋げる目的で行っています。

来賓として近藤忠夫東京納税貯蓄組合総連合会会長、那須匡子同事務局、高田和昭雪谷税務署長、笈啓和同副署長、高野豪大田都税事務所長、鈴木晶雅大田区長と大勢の方にお越し頂きました。更に城南地区を管轄します各税務署や大田都税事務所・大田区の幹部職員の方々にもご臨席を頂きました。



伊藤 雪谷納連会長



近藤 東総連会長



高田雪谷税務署長



高野大田都税事務所長



鈴木大田区長

【地域の特色ある各地区の報告】



各地区からは、オリジナルポスターや活動写真などを使用し地域の特色あるご報告がありました。

雪谷納連の発表者は、2名でした。先ず、長久保裕子副会長から「キャッシュレス納付に関する取り組みについて」と題し、共同推進宣言など様々なPR活動の報告とその成果とも言えますキャッシュレス納付割合が着実に増加している旨の報告がありました。

次に、上野由利子副会長から「新規組合員の獲得と組織、財源確保について」と題し、新規会員の参加を阻害する要因は、若者・子育て世代の不安定な就労環境や先行き不透明な生活状況にあること。一方で令和5年度に新会長と共に10名の新会員を迎えることができたことは、新たな潮流と捉え、更なる会員間の連携によって組織の増強を図っていききたい旨の報告がありました。

【雪谷納連の底力】

当日は、雪谷税務署の協力をいただき、雪谷納連の参加者全員で対応しました。会場設営、道案内、受付、来賓対応、来場者誘導、司会、議長、開会・閉会の言葉、発表、記念写真準備・誘導、撤収作業と一人で何役もの担当を担って頂きました。想定外な問題も多数ありましたが、皆様の臨機応変な対応によって、何事もなかったかのようにスムーズに進めることができました。“雪谷納連の底力”が発揮されました。納税制度の推進は、国等の行政施策だけでは賅いきれません。当組合は、行政では対応しきれない課題を民間の立場で支援しています。今回の城南地区協議会の運営は、当組合の結束力やひとり一人の迅速かつ的確な行動によって、たいへん実りのある有意義なものとなりました。組合員の皆さまお疲れ様でした。



ご来賓・雪谷納連の皆さま

奔走の日々

雪谷納税貯蓄組合連合会前会長 近藤 忠夫



会長職を務めた 14 年間の思い出を思い起こせば、皆さまと汗を流し、管内を奔走した日々が昨日のことに甦り、感慨深いものがございます。新会長に就任した平成 21 年当時は、リーマンショックによる 100 年に一度の経済的危機にみまわれておりました。

このような未曾有の不景気だからこそ、私たち組合の真価が問われるという信念で納税制度の推進に邁進して参りました。一部ご紹介致しますと、駅前や区役所での教宣活動に力を入れてきました。最初は見向きもされませんでした。続ける中で暖かなご声援を頂くようになりました。地道な活動が理解されるには、長い年月を要する事を肌身で感じました。

一方で、時代を読む力も必要となります。コロナ禍で緊急事態宣言が発せられ、教宣活動ができなくなりました。このためポスターの掲示に切り替えました。大田区内の大森・蒲田納連の皆さまに声をかけ、税務署、都税事務所、大田区の協力を得て期限内納税教宣ポスターを作成しました。そのポスターは、区内の 218 自治会町会へ各 10 部、大田区へ 300 部を配布し、自治会や公設の掲示板に掲示して頂きました。雪谷税務署はじめ関係団体の皆さまには、大変お世話になりました。特に、自治会町会の皆さまには、同じ地域で活動する同士として、更なる高みを目指す私たちにとって、無くてならない存在となりました。この取り組みは、先進事例として全国納税貯蓄組合連合会の会報「全納連通信」にて紹介されました。

平成 29 年には、東京納税貯蓄組合総連合会会長に就任し、物事をより鳥瞰的に見なければならぬ立場になりました。例えば、子どもの頃、親にもらった 10 円硬貨を握りしめ、駄菓子屋でわくわくした思い出があります。おもちゃなど高価なものは、お金を貯めないで買えなくて、貯金箱にお金を入れては、その重みでお金の価値を感じたものです。しかし、今は、スマホで「ポチ」っとするだけで何でも買えます。ものを買うという感覚が希薄となります。

キャッシュレス納付の進展は、これからの子どもたちにお金や税の大切さをどのように伝えていくか、その伝え方を再考しなければなりません。その応えの一つとして、まだ構想段階ではありますが「おもしろ税金教室」を事業化できないか、検討しております。



このように物事を大局的に捉えて取り組んできた事業がございます。中学生の税の作文においては、恒例になりました中学生による「1日税務署長」について、国税局に提案しました。東京国税局管内の納税貯蓄組合連合会の会長として当時の岡村憲一徴収部長と協議し、岡田則行東京国税局長の承認を得て、先ずは、「パイロットスタディ」として東京で3税務署、千葉・神奈川・山梨で各1税務署からスタートしました。今では、東京国税局管内のほぼ全域で実施するまでになりました。更に、全納連にも声をかけ、全国へも波及し始めております。

話しは雪谷納連に戻します。毎年、雪谷管内の中学3年生全員に「しおり」を贈呈しております。この「しおり」は、大田区上池台障害者福祉会館の利用者が心を込めて作成したものです。「しおり」の代金は、作成者の工賃に使われます。この事業を続けたことで各中学校と福祉施設の絆も強まりました。

このような中学生への取り組みは、未来を担う子どもたちに税の大切さを理解してもらおうと共に、地域の大人や福祉行政に触れることで視野の広いやさしい大人に成長して頂きたい思いで実施して参りました。

これまで行ってきた活動は、国から評価され、財務大臣賞をいただくことが出来ました。このような荣誉ある賞を受賞できましたのも、先代の会長であります木村宏行名誉会長はじめ各会員の皆さま方のご協力の賜と感謝申し上げます。

結びに、雪谷納税貯蓄組合連合会の発展と組合員の皆さまのご健勝を祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。14年間、ありがとうございました。



雪谷税務署からのお知らせ



【問合せ先】 〒145-8506 大田区雪谷大塚町 4-12 Tel. 03 (3726) 4521 (代表)
 ※ お電話は、自動音声に従ってご用件の番号を選択いただくと、担当者をご用件にお答えします。

税理士による無料申告相談

申告書作成会場の開設期間以前に、次の日程で「税理士による無料申告相談」を実施しますのでご利用ください。

期間	会場	所在地	時間
2月5日(月)～2月8日(木)	嶺町集会室 3階	大田区 田園調布本町7-1	午前9時30分～午前11時30分 午後1時00分～午後3時30分 【事前申込をお願いします】

- ・初日の午前中は混雑が見込まれます。
- ・申告書等の提出のみの場合は、雪谷税務署に直接お持ちいただくか、郵送でご提出ください。
- ・「大田区役所本庁舎」及び「雪谷特別出張所」では、無料申告相談は実施しません。

- 小規模納税者の所得税及び復興特別所得税・個人消費税、年金受給者並びに給与所得者の所得税及び復興特別所得税の申告書（土地、建物及び株式などの譲渡所得がある場合を除く。）を作成して提出できます。
- 令和5年分の税理士による無料申告相談は、混雑回避のため、オンライン又は電話による**事前申込**を受け付けます。
- オンラインによる事前申込は、令和6年1月10日(水)から可能となります。
詳細につきましては、右記事前申込サイトを参照願います。
- 電話による事前申込は、令和6年1月10日(水)から可能となります。

【事前申込専用番号：03-6745-6314】（受付時間：平日午前9時～午後4時）に電話の上、オペレーターに「管轄の税務署（雪谷税務署）」「ご希望の会場及び相談日時」「ご相談者の氏名・電話番号」をお伝えください。

なお、「事前申込専用番号」以外（税務署及び地方団体）での電話申込は受け付けておりません。

また、電話が大変混みあう可能性がありますので、オンラインによる事前申込の利用をご検討ください。

キャンセルの連絡は、「事前申込専用番号」に電話してください（会場の「嶺町集会室」への連絡はお控えください。）。

- 一部、当日入場整理券の配付を行いますが無くなり次第終了となりますので、事前申込をご利用ください。



事前申込サイト
https://coubic.com/yukigayaz/ei/booking_pages#pageContent

申告書作成会場の開設について

～原則、スマートフォンで申告書を作成していただきます～

開設期間	会場	所在地	時間
2月16日(金)～3月15日(金) ※ 土、日及び祝日を除きます。(注)	雪谷税務署 1階	大田区 雪谷大塚町4-12	【相談の受付】 午前8時30分～午後4時まで 【相談】 午前9時15分～午後5時まで

入場整理券

- 令和5年分の申告書作成会場では、混雑回避のために「入場整理券」を配付します。
- 入場整理券の配付状況に応じて、受付を早く締め切る場合があります。
- 3月中は入場整理券の入手が困難となることが予想されますので、2月中の来場をお勧めします。
- 入場整理券は、当日、会場で配付するほか、LINEによる事前発行で入手することが可能です。
是非、LINEによる事前発行をご利用ください。

オンラインで事前発行

LINEアプリで国税庁の公式LINEアカウントを友だち追加してください。



事前に準備いただきたいこと

- マイナンバーカードを利用した、マイナポータル連携には以下のようなメリットがありますので、**マイナポータル連携の事前準備**をお願いします。
- 確定申告書に添付する書類の管理・保管が不要
- 申告書への自動入力が可能（控除証明書等の集計や1件ずつ入力する手間が不要）
- e-Taxでデータ送信

マイナポータル連携の概要は
こちらから！



マイナポータル連携の事前準備は
こちらから！



(注) ただし、2月25日の日曜日は蒲田税務署で相談・受付を行います。
大田区3税務署（雪谷、大森、蒲田）の合同開催となり、大変混雑しますのでご了承ください。

使ってみると便利です! キャッシュレス納付!

💡 キャッシュレス納付の3つのメリット!

- ✓ 自宅やオフィスから納付可能!
- ✓ PCやスマホで簡単手続き!
- ✓ 現金の準備が不要!



ダイレクト納付

おすすめ!

納付方法

e-TaxやeLTAXによる簡単な操作で
事前に届出をした預貯金口座から、口座
引落しにより納付する方法です。

こんな方にオススメ!

源泉所得税や個人住民税（特別徴収分）
など納付の機会が多い方、ご自身で振替
日を指定したい方

インターネットバンキング による納付

納付方法

インターネットバンキング口座から納付
する方法です。

こんな方にオススメ!

普段からインターネットバンキングにより
決済する機会の多い方

振替納税（口座振替）

納付方法

事前に届出をした預貯金口座から、振替日に
自動で口座引落しにより納付する方法です。

こんな方にオススメ!

所得税や消費税、固定資産税などを毎年納め
ている方、毎回の納付手続を省略したい方

クレジットカード・スマホアプリ納付

納付方法

専用サイトにアクセスし、クレジットカードや
スマホ決済アプリ（Pay払い）により納付
する方法です。

こんな方にオススメ!

時間を気にせず納付したい方

\\さらに便利に!\\

電子納税証明書(PDF)が スマホで請求&受取できる!

電子納税証明書(PDF)は、お手持ちのスマートフォンやタブレット端末からもe-Tax(SP版)を使って、請求から受取まで簡単な操作でできますので、是非ご利用ください!

メリット ①

いつでもどこでも!

スマホで 完結!

タブレットでも!



メリット ②

手数料が お得!

1税目1年度あたり**370円**

※書面での請求の場合は、
1税目1年度1枚あたり400円

メリット ③

期間内であれば 何度でも 印刷・使用可能!

※コンビニエンスストアの
印刷サービスを利用する場合には、
別途手数料がかかります。

ご利用に当たっては、納税者本人(法人の場合は代表者本人)の
マイナンバーカードが必要です。

スマホを利用した電子納税証明書(PDF)の請求は、本人(法人の場合は代表者本人)のみ行うことができます。
代理人の方はお手持ちのパソコンから請求してください。



◀ 詳しい手続きの仕方はこちらから

読み取れない場合はこちらから <https://www.e-tax.nta.go.jp/e-taxsoftsp/e-taxsoftsp.htm>

 国税庁 国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp/>

その他、便利な請求&受取方法は裏面へ

納税貯蓄組合連合会からのお知らせ

税務署からのお知らせ	納付の期限等のご案内	
令和5年分の期限等	申告所得税及び復興特別所得税	消費税及び地方消費税 (個人事業者)
納付の期限(納期限)	令和6年 3月15日(金)	令和6年 4月1日(月)
口座振替日 (振替納税をご利用の場合)	令和6年 4月23日(火)	令和6年 4月30日(火)

納税は振替納税で!

振替納税とは、納税者ご自身名義の預貯金口座からの口座引落しにより、国税を納付する手続です。詳細は、税務署までお問い合わせください。

＜取扱対象となる税金＞

- 1 申告所得税及び復興特別所得税(1期分、2期分、確定申告分、延納分)
- 2 個人事業者に係る消費税及び地方消費税(中間申告分、確定申告分)

都税事務所からのお知らせ

2月は固定資産税・都市計画税第4期分の納期です (23区内)

6月にお送りした納付書により、2月29日(木)までにお納めください。

中小企業者向け省エネ促進税制 (法人事業税・個人事業税の減免)

東京都では、中小企業者が地球温暖化対策の一環として行う省エネルギー設備等の取得を税制面から支援するため、都内の中小規模事業所等において、特定の省エネルギー設備等を取得した場合に、法人事業税、個人事業税を減免しています。

詳しくは主税局ホームページ内「環境に関する都税の軽減制度について」をご覧ください!

主税局 環境減税 詳しい案内やQ&Aも掲載しています。

区役所からのお知らせ

令和6年度大田区特別区民税・都民税申告書の提出は3月15日(金)までです。

申告についてのお問合せ
 大田区役所 課税課(本庁舎4階) 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
 大田区ホームページ 【<https://www.city.ota.tokyo.jp/>】

お住まいの地区		お問合せ先
大森地区	大森・山王・馬込・中央・池上・平和島	03(5744)1194
調布地区	嶺町・田園調布・鶴の木・雪谷・千鳥・久が原・千束・石川町・仲池上・上池台	03(5744)1195
蒲田地区	蒲田・羽田・糞谷・萩中・六郷・下丸子・矢口・多摩川	03(5744)1196

期限内納税で豊かな社会を築こう

大森納税貯蓄組合連合会 03-3298-0671
 雪谷納税貯蓄組合連合会 03-3727-0912
 蒲田納税貯蓄組合連合会 03-5744-3324

納税貯蓄組合は、納税貯蓄組合法に基づき設立され、期限内完納の継続を目指す団体です。

発行 雪谷納税貯蓄組合連合会
 発行者 伊藤 隆正
 印刷 株式会社プリントン・コミュニケーションズ



迎春



東京税理士会雪谷支部

〒145-0067 大田区雪谷大塚町 11 番 6 号

電話 03 (3726) 5701 (代表)

●誠実な記帳 明かるい納税

一般社団法人 雪谷青色申告会

〒145-0073 大田区北嶺町 41-2

電話 03 (3727) 5681 (代表)

よき経営者団体

公益社団法人 雪谷法人会

〒145-0067 大田区雪谷大塚町 11-6

電話 03 (3726) 0051 (代)

雪谷間税会

〒146-0083 大田区千鳥 2-37-17

株式会社 三陽機械製作所内

電話 03 (5741) 2292

東京小売酒販組合雪谷支部

〒145-0067 大田区雪谷大塚町 1-14

電話 03 (3729) 3259

